

平成29年度 予算の概要

平成29年度の予算の概要と主な事業について紹介します。くわしい資料は、市政情報コーナー（市役所3階）や市ホームページでご覧になれます。
財政課・内線2676

平成29年度の一般会計と特別会計の総額は、1,318億7,822万円で、前年度に比べて170億8,187万円減少しました（右表）。

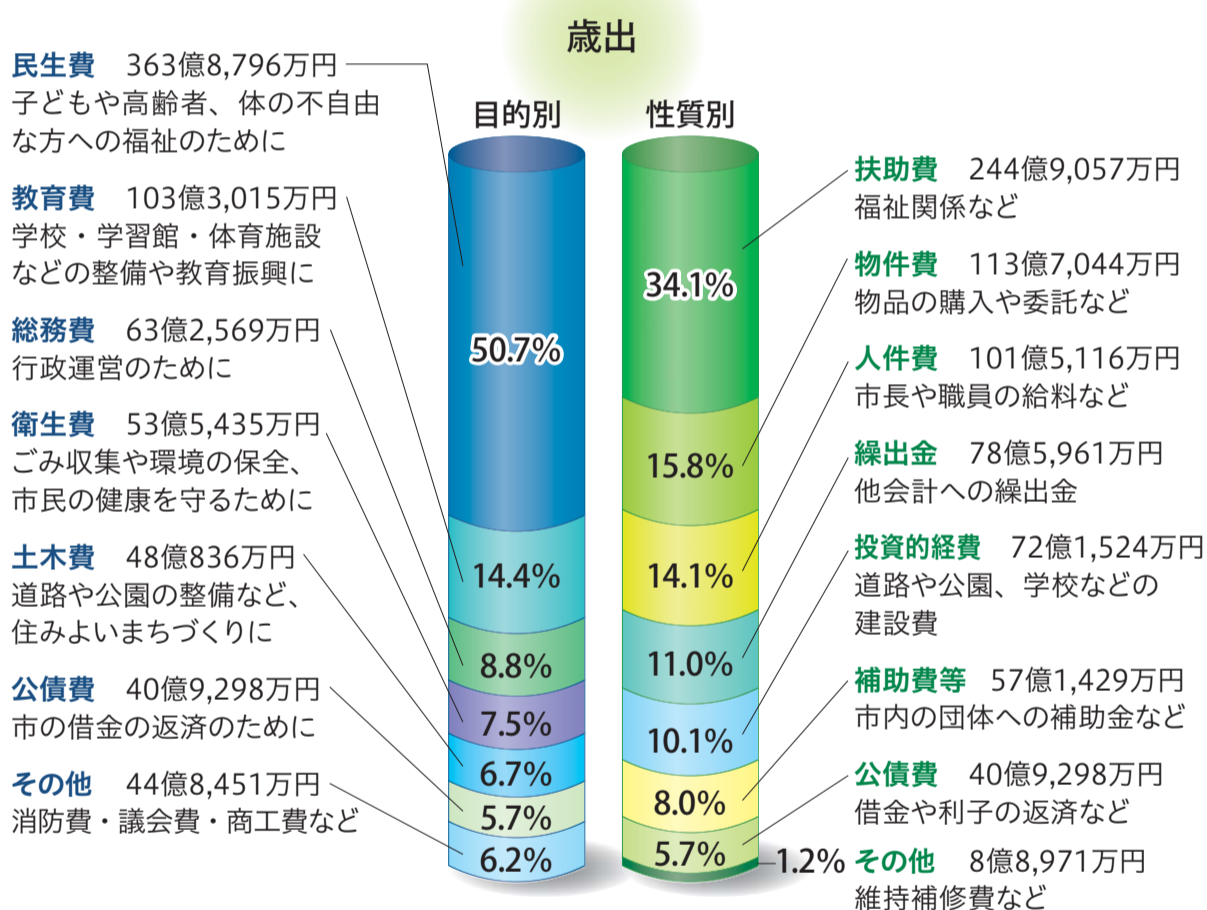
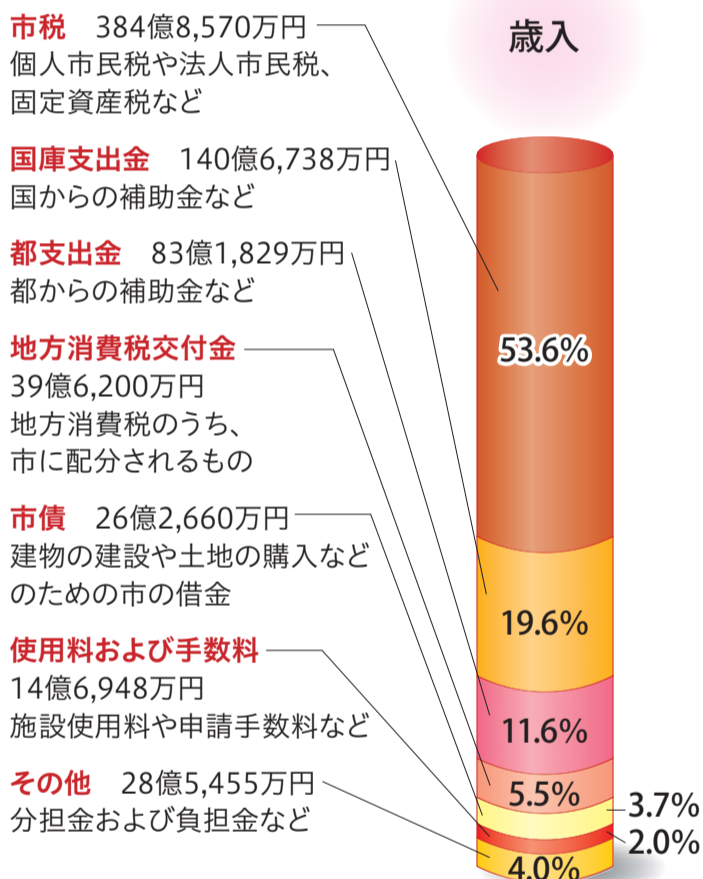
市の予算は一般会計と特別会計で構成されています。一般会計は福祉や教育、防災、道路の整備など、市の基本的な仕事を行うための会計で、主な収入源は市税や国・都からの補助金です（下グラフ）。特別会計は、特定の収入を特定の支出に充てて経理する必要のある事業について、収支を明確にするために一般会計とは区別して設けられている会計です。

	予算額(万円)	前年度比(%)
一般会計	717億8,400	- 2.2
特別会計	600億9,422	- 20.4
競輪事業	168億7,896	- 48.3
国民健康保険事業	204億1,502	- 0.2
下水道事業	53億6,745	- 8.8
駐車場事業	1億4,007	- 49.1
介護保険事業	136億8,271	+ 7.0
後期高齢者医療事業	36億1,001	+ 4.0
合計	1,318億7,822	- 11.5

行財政改革を進めています

市は行財政改革に積極的に取り組んでいます。平成29年度は職員定数の削減や電力供給の見直し、ネーミングライツや広告料収入などにより、約4億円の財源を確保しました。

一般会計717億8,400万円の内訳



6つの重点施策

市は次の6つの施策に重点的に取り組んでいきます。

1 防災・防犯への取組

- 地域防災計画の見直しなど防災対策の強化
- 地域や警察と連携した取り組みや、防犯カメラの活用等によるJR立川駅周辺の環境改善
- 小学校通学路への防犯カメラの設置による子どもの安全・安心の確保

2 子育て・教育支援の推進

- 保育園の新設や建て替えによる受け入れ枠拡大
- 学童保育所4園の開設
- 適応指導教室へのタブレット端末と学習支援ソフトの導入
- 英語力向上に向けた外国語指導助手の活用

3 豊かな長寿社会の構築

- 医療・介護資源情報マップの作成や相談支援窓口の新設による在宅医療・介護連携推進事業の充実
- 認知症地域支援推進員の配置等による認知症施策推進事業の展開

4 魅力と活力にあふれたまちづくり

- シティプロモーション推進事業の展開
- プレミアム婚姻届事業の展開
- ファーレ立川アートの活用やJR立川駅西地下道壁面のアート化
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運醸成のための事業の展開

5 新清掃工場の建設

- 新清掃工場建設に向けた取り組み
- 飲食店の食品ロス削減に向けた取り組み
- ごみ減量を進めるための2R（リデュース・リユース）の推進
- 再資源化施設実証導入の継続

6 不断の行財政改革

- 行政評価制度と予算編成や組織編成、定員管理を連動させた行政経営システムの推進
- 市立保育園の民営化に向けた取り組み
- 窓口業務のあり方の検討
- 住民票等証明書のコンビニ交付に伴う自動交付機・連絡所等のあり方の検討